

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
0 建築物の環境品質								2.9
Q1 室内環境								2.8
1 音環境		2.6	0.15	-	-			2.6
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-			
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	-			
2 設備騒音対策		-	-	-	-			
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-			
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-			
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
1.3 吸音		1.0	0.20	3.0	-			
2 温熱環境		2.8	0.35	-	-			2.8
2.1 室温制御		2.7	0.50	-	-			
1 室温		3.0	0.38	3.0	-			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能		2.0	0.25	3.0	-			
4 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-			
3 光・視環境		2.0	0.25	-	-			2.0
3.1 昼光利用		1.8	0.30	-	-			
1 昼光率		1.0	0.60	3.0	-			
2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-			
3.2 グレア対策		1.0	0.30	-	-			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御		1.0	1.00	3.0	-			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-			
4 空気環境		3.9	0.25	-	-			3.9
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-			
1 化学汚染物質	F 建材の70%以上の採用	4.0	1.00	3.0	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.30	-	-			
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-			
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-			
4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-			
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御	既存棟の喫煙室以外全館禁煙。	5.0	1.00	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.2
1 機能性		3.1	0.40	-	-			3.1
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-			
1 広さ・収納性		3.0	0.33	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	3.0	-			
3 パリアフリー計画		3.0	0.33	-	-			
1.2 心理性・快適性		2.0	0.30	-	-			
1 広さ感・景観		1.0	0.33	3.0	-			
2 リフレッシュスペース		1.0	0.33	-	-			
3 内装計画	求められる機能とコンセプトが明確で、照明と内装を一体的に計画。	4.0	0.33	-	-			
1.3 維持管理		4.5	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	内壁の凸凹を極力無くし巾木をR立上げホコリを溜りにくくした。維持管理方法が大きく異なる床材を用いない設計とした。外部の鉄部には亜鉛メッキを行う設計とした。構内・屋内は極力段差のない設計とした。	5.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保	屋外に清掃作業を想定した電源を設置。バルブ等は操作が容易な位置に設けた。専用部以外の諸設備は共用部での維持管理を可能とした。	4.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.1	0.31	-	-			3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.1	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管:塩ビライニング鋼管、排水管:塩ビ管	4.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.4 信頼性	1	空調・換気設備	外調機系統:3系統、熱源:複数台分割	3.6	0.19	-	-	-	
	2	給排水・衛生設備	節水機器、井水利用	4.0	0.20	-	-	-	
	3	電気設備		4.0	0.20	-	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	-	
	5	通信・情報設備	光+携帯電話、サーバ室を地上階に設置	3.0	0.20	-	-	-	
3 対応性・更新性				3.5	0.29	-	-	3.5	
3.1 空間のゆとり				4.6	0.31	-	-	-	
1 階高のゆとり				1階階高7000、2階階高5000.7000	5.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ				壁長さ比率0.1以上0.3未満	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.31	3.0	-	-	
3.3 設備の更新性				3.2	0.38	-	-	-	
1 空調配管の更新性				3.0	0.17	-	-	-	
2 給排水管の更新性				3.0	0.17	-	-	-	
3 電気配線の更新性				3.0	0.11	-	-	-	
4 通信配線の更新性				3.0	0.11	-	-	-	
5 設備機器の更新性				3.0	0.22	-	-	-	
6 バックアップスペース				屋上に設備機器用将来スペースを確保	4.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.40	-	-	2.7	
1 生物環境の保全と創出				2.0	0.30	-	-	2.0	
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	3.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				3.0	0.50	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.4	
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.6	
1 建物の熱負荷抑制				-	-	-	-	-	
2 自然エネルギー利用				3.0	0.29	-	-	3.0	
2.1 自然エネルギーの直接利用				3.0	0.50	-	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用				3.0	0.50	-	-	-	
3 設備システムの高効率化				高効率照明器具の採用	4.5	0.43	-	-	4.5
集合住宅以外の評価(ERRによる評価)				ERR=26%	4.5	-	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	-	
4 効率的運用				3.0	0.29	-	-	3.0	
4.1 モニタリング				3.0	0.50	-	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	0.50	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.6	
1 水資源保護				3.8	0.15	-	-	3.8	
1.1 節水				節水コマに加え、節水型便器を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.6	0.60	-	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無				井水利用	4.0	0.67	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.8	0.63	-	-	3.8	
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.07	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.25	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.21	-	-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用				階段滑り止め、再生骨材の路盤材利用、エコセメント、地盤改良用製鋼スラグ	5.0	0.21	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				躯体と仕上材の分別が容易、内装材と設備の錯綜を回避。	5.0	0.25	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.22	-	-	3.0	
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.68	-	-	-	
1 消火剤				-	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	-	-	
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.0	
1 地球温暖化への配慮				参照値45.93kg-CO2/年m2に対し、標準計算で43.23kg-CO2/年	3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮				2.6	0.33	-	-	2.6	
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.7	0.25	-	-	-	
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-	
3 交通負荷抑制				5.0	0.25	-	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制				4.0	0.25	-	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-	
1 騒音				3.0	1.00	-	-	-	
2 振動				-	-	-	-	-	
3 悪臭				-	-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-	
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-	
2 砂塵の抑制				3.0	-	-	-	-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-	
3.3 光害の抑制				3.7	0.20	-	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				防虫対策上窓が少なく外に光は漏れにくい、上方に光の漏れない屋外照明器具を選定。	4.0	0.70	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-	